

# 体験的テレワーク論 「TWは人生を変えるか？」

テレワーク推進フォーラム

2017年6月30日(金)

豊橋技術科学大学長・日本学術会議会長  
大西隆

## 体験的テレワーク論

- 1 役に立つか？
- 2 ワーク・ライフ・バランスを改善するか？
- 3 生産性を高めるか？
- 4 ICTは必要か？
- 5 障害は何か？
- 6 何を変えたか？
- 7 テレワークをうまく使う方法は何か？

# 1 テレワークは役に立つか？

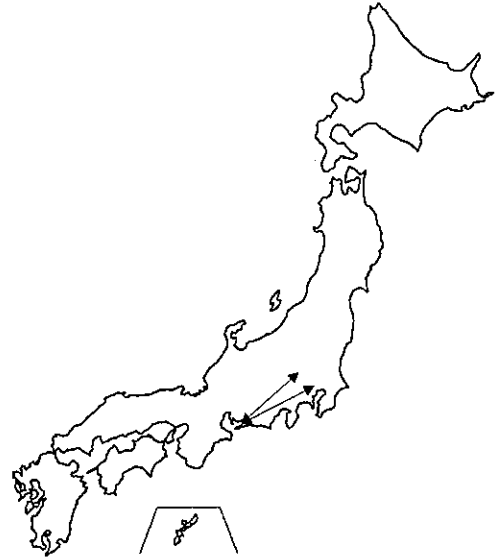
Yes テレワークなしでは成り立たない

- 二か所あるいは三か所＋在宅勤務で有効性発揮

豊橋⇔乃木坂 スカイプ

豊橋⇔竹橋 専用回線

往復4－5時間⇒0分



# 2 テレワークはWLBを改善するか？

Yes/No

- 移動時間短縮に効果、疲れを軽減
- 海外とのTW頻繁化、WLBは悪化。
- 欧米日 欧(-8)・早朝、米(-17)・深夜、日・夕刻  
欧・16時、米・7時、日・深夜
- 在宅勤務における働き過ぎ(能率が下がったら止める 方がいいのかもしれない)

### 3 テレワークは生産性を高めるか？

Yes/No 両方の見方が可能

- 仕事の効率、質の向上  
原稿・パワポ作成 集中力が勝負 在宅ベスト

ビデオ会議も声が順調に伝われば、背景や論点の共有、合意形成を要領よく行うのに適している。

- お金を稼ぐ  
何処で働くかが重要なことが多い。大学、オフィスで存在感を示す。儀式要員としての務め。

生産性は仕事の質ではなく、お金で量られる

### 4 テレワークにはICTが必要か？

Yes/No

- いい仕事 面談がベスト。次は電話(1対1)、そしてビデオ会議。

- 警戒が必要なら会わない！面談すると深みにはまる。  
⇒電話・ビデオ会議の効用

- テレワークは情報共有には最適。

## 5 テレワークの障害は何か？

- 五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚)を通じた情報収集はできにくい。相手の顔色を窺う必要の度合いが多ければテレワークは向かない。
- ICTの不具合  
セッティングに手間がかかる  
思わぬ不具合が生ずる  
トラブル発生時の技術対応力が必須

## 6 テレワークは人生を変えたか？

Yes

- 最初の本は1992年？「テレワークは都市を変える」⇒都市はあまり変えなかった。
- テレワークは人生を変えたか？  
二か所居住を可能にした。  
無給と有給なので、テレワークなしに成り立たない。
- テレワークが人を多忙するにする面があるのは否定できない。

## 7 テレワークをうまく使う方法は？

- 自分なりの働き方、生き方のスタイルの確立
  - 何が自分のしたいことか(働きたいことか)？
  - 何が最も能率(生産性)の高い働き方か？
  - 集団で力が出るか？ 一人でも働けるか？  
「小人閑居して不善をなす」
- 通勤、移動、時間配分の下で最適な働き方の上手な組み合わせ